



# やなぎしましょう 柳島小だより

令和7年 1月30日  
茅ヶ崎市立柳島小学校  
校長 赤池 理

学校教育目標 — 21世紀を担う柳島小学校の子どもたち —  
豊かな心をもち、意欲的にたくましく生きる子どもの育成

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」

1月が明けて1～3月はとてもはやく時間が流れていきます。今年の立春は2月3日です。暦の上では、この日から春が始まるとされており、以前は1年の始まりの日でもありました。そして、その前日が節分です。従って今年の節分は2月2日です。豆まきをしたり、恵方巻を食べたりしますね。



2月は如月とも言います。如月の由来は、厳しい寒さに備え重ね着をする季節を意味する「衣更着」、だんだんと春に向けて陽気が来るのを意味する「気更来」、春に向けて草木が更に生えてくるという意味の「生更木」から転じたという3つの説があるそうです。まさに寒い冬から春に向けての準備期間となります。

学校では、新年度に向けてのステップアップを図る大切な時期でもあります。

## 昔遊びを楽しんでいます。

1年生はたこあげやコマ回しやけん玉、お手玉やカルタと言った、昔遊びを楽しんでいます。昔から伝わる伝承遊びから、とても多くのことを学ぶことができます。まずは、古き良き日本の文化や伝統を感じるすることができます。そして遊びを通して、友だちと協力していく中で、コミュニケーション能力を身につけることもできます。また、最初はうまくできなくても、一生懸命考えたり、努力したりすることで、耐力も身につきます。



でも、一番大切なことは、楽しむことです。寒さに負けず、みんな笑顔で元気よく取り組んでいます。

## 書き初めもがんばりました。

書き初めの由来については1月号に書きましたが、どの学年も、子どもたちが一生懸命に書いた書き初めが廊下を飾りました。

1年生は「お正月」、2年生は冬休みの思い出、4年生は「明るい心」、5年生は「新しい風」、6年生は「進む勇気」を書き上げました。

3年生は体育館に「友だち」をいっぱいあふれさせました。

